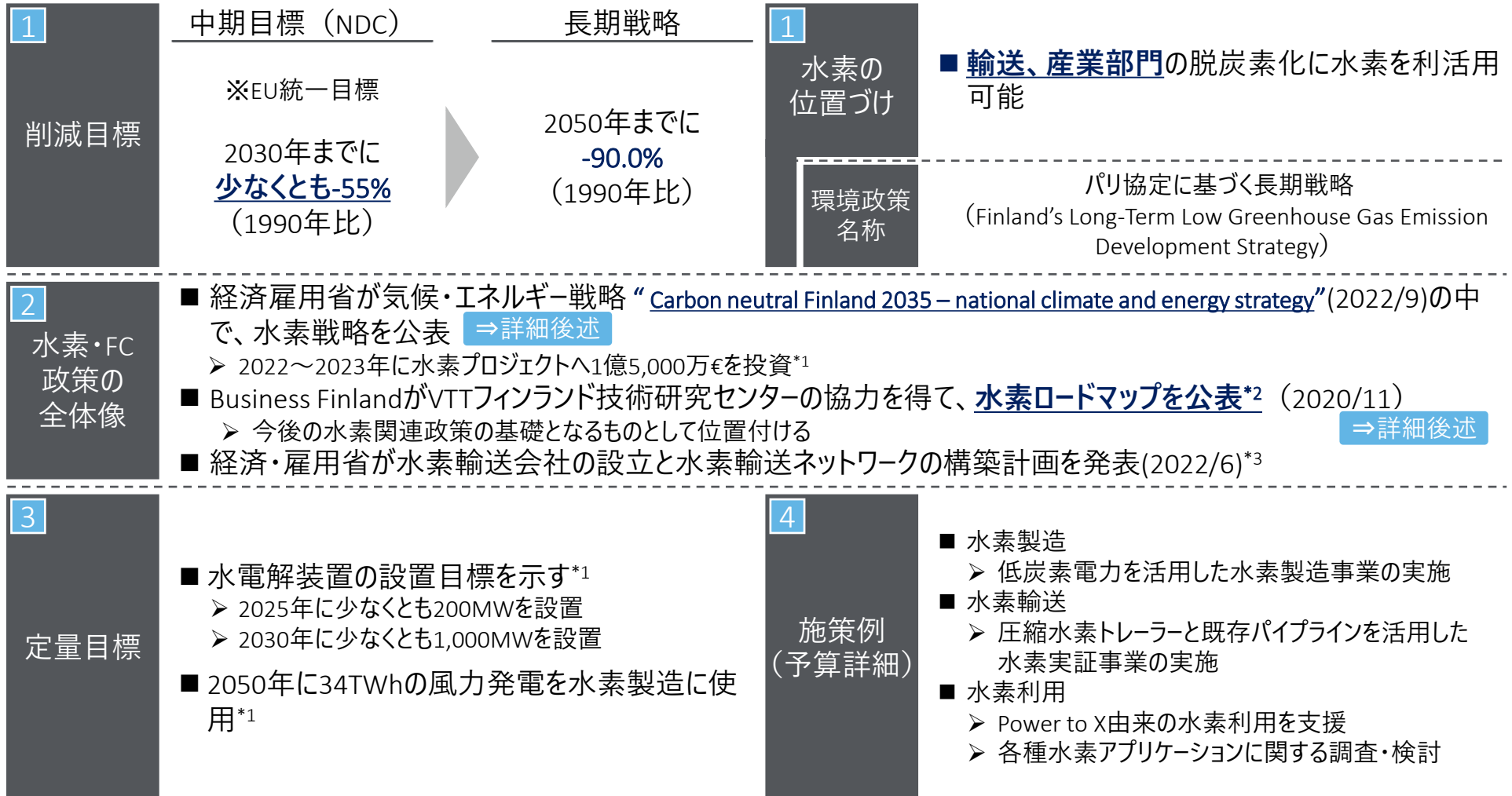




【国・地域別サマリー フィンランド】

2020年に水素ロードマップを公表し、気候・エネルギー新国家戦略の中で水素戦略を示す

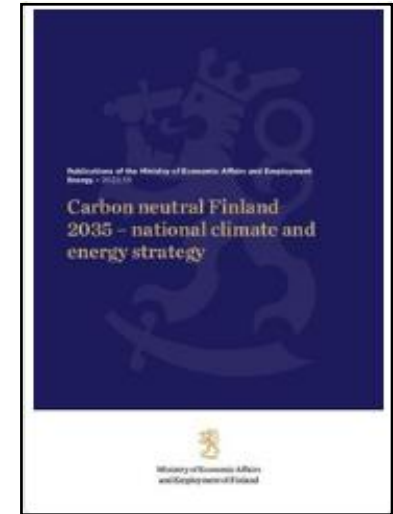


出典：UNFCCC、*1：Ministry of Economic affair and Employment Energy “Carbon neutral Finland 2035 – national climate and energy strategy” (2022/9) IPHE *2：Business Finland “NATIONAL HYDROGEN ROADMAP for Finland” (2020/11) *3：Finnish Government “Finland accelerates hydrogen economy: Gasgrid establishes a hydrogen transmission company”(2022/6)

<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

フィンランドは気候・エネルギーに関する新国家戦略の中で、水素戦略を示した

名称	カーボンニュートラルフィンランド2035-国家気候およびエネルギー戦略- (Carbon neutral Finland 2035 – national climate and energy strategy)	
作成主体	経済・雇用省 (Ministry of Economic Affairs and Employment of Finland)	
公表時期	2022年9月	
目的・位置づけ	■ 2035年までに脱炭素を達成するための手段を概説	
記載分野	■ 再生可能エネルギー、水素、電気燃料、核エネルギー、風力	
主な政策提言	水素製造	■ 再エネ水素製造能力の出現を促進 ■ 水電解装置の設置目標を提示
	水素輸送	■ EU資金とEUからの提供機会を活用し、促進 ■ 大型道路輸送と水上輸送において水素の利用を試験的に実施
	全体	■ フィンランド国内で活躍する企業と、能力開発および共同プロジェクトにおいて協力 ■ EU等の協力や投資機会を活用し、水素技術のRDIに対する投資を強化





<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

フィンランドは2020年11月に水素政策検討の土台となる調査報告書を公表した

名称	National Hydrogen Roadmap for Finland	
作成主体	Business Finland（経済・雇用省所管）	
公表時期	2020年11月	
目的・位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 政府は2020年8月から2021年6月まで水素政策検討WGを開催 ■ 本ロードマップは今後の水素関連政策の検討の基礎となるもの 	
主な政策提言	水素製造	<ul style="list-style-type: none"> ■ 低炭素電力を利用した水素製造を推進すべき ■ 水電解の排熱利用ポテンシャルは大きい
	水素輸送	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素輸送は圧縮水素トレーラーとパイプラインが有効的 <ul style="list-style-type: none"> ▶ フィンランドではトラックのサイズと重量制限が他国より大きい背景がある
	エネルギー変換と貯蔵	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素貯蔵に関する研究開発は必要 ■ 大規模水素貯蔵施設の実証を開始すべき
	産業利用	<ul style="list-style-type: none"> ■ Power to X由来の水素利用を支援すべき ■ 水素による国内産業への影響を調査すべき
	モビリティ、燃料電池	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種水素アプリケーションに関する調査・検討が必要（フィンランドの気候への適合の可否など） ■ 実証プロジェクトを支援すべき
	全体	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国民に対する普及啓発活動が必要 ■ 国内法規制をレビューすべき

